名前

実力UP! Seminar

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

*孟宗は、いとけなくして母を養へり。母、年老いてつねに病み a いたはり、食の①味はひも度ごとに変はりければ、よしなきものを望めり。冬のことなるに、竹の子をほしく b 思へり。すなはち、孟宗、竹林に行き、c 求むれども、雪深き折なれば、②などかたやすく得べき。ひとへに*天道の御あはれみを頼み奉るとて、③祈りをかけて、大きに悲しみ、竹に寄り添ひけるところに、④にはかに大地開けて、竹の子あまた生ひ出で侍りける。大きに喜び、すなはち⑤取りて帰り、*あつものに作り、母に与へ侍りければ、母、これを食して、そのまま病も癒えて、齢を d 延べたり。これ、ひとへに孝行の深き心を感じて、天道より与へ給へり。

（「御伽草子」より）

*孟宗…中国の三国時代（二二〇～二六四年）における呉の国の少年の名。
*食の味はひ…食事の好み。
*天道…天の神様。
*あつもの…汁。吸い物。

(1) 波線部 a ～ d の主語が、一つだけ違う。違うのはどれか、記号で答えなさい。（　　）

(2) 傍線部①「味はひ」の読みを、現代仮名遣いで、四字で書きなさい。

(3) 傍線部②「などかたやすく得べき」の口語訳として、最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。（　　）

ア　どうしても容易に入手できるだろう。
イ　どうしたら容易に入手できるだろうか。
ウ　どうしたら容易に入手できるか。
エ　どうして容易に入手できようか、いや、できるはずがない。

(4) 傍線部③「祈りをかけて」について、祈りの内容にあたる部分を抜き出し、その初めと終わりの四字ずつで答えなさい。

～

(5) 傍線部④「にはかに大～で侍りける」について、竹の子がたくさん生え出てきた理由を作者はどのように考えているか。該当する箇所を、文中から十五字以内で抜き出しなさい。

(6) 傍線部⑤「取りて」は、誰が何を「取りて」か。それぞれ文中から抜き出しなさい。（　　が　　を）

E1d5daee7591